

松監事第16号
令和4年8月17日

松本市本郷財産区
管理者 松本市長 臥雲 義尚 様

松本市監査委員 上 杉 陽 一
同 竹 本 祐 子
同 上 條 俊 道

令和3年度松本市本郷財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和3年度松本市本郷財産区特別会計歳入歳出決算とその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

令和3年度松本市本郷財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

令和3年度松本市本郷財産区特別会計歳入歳出決算

第2 審査の期間

令和4年6月1日から令和4年8月16日まで

第3 審査の方法

松本市監査基準に従って策定した令和3年度決算審査等実施計画に基づき、提出された決算その他関係書類が法令に適合し、かつ、正確であるか、また、予算の執行状況、会計処理の適否、計数の正否、財産の管理状況等に主眼を置いて検証し、審査を実施しました。

なお、審査に当たっては、決算状況その他を把握できる調書や、事務執行に関する各種帳簿類等審査に必要な書類の提出を求め、必要に応じて説明を受けました。また、審査を効率的、効果的に実施するため、例月現金出納検査など、これまでの監査の結果を踏まえて審査を実施しました。

第4 審査の結果

上記のとおり審査した限り、その重要な点において、審査に付された歳入歳出決算、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも法令の規定に準拠して作成されており、記載数値については、関係諸帳簿及び証書類と照合の結果、いずれも符合し、正確であると認められました。

なお、決算の概要及びこれらに対する意見については、次に述べるのとおりです。

1 決算の概要

(1) 総括

予算現額 2,706 万円（前年度比 1,977 万円、271.2%増）に対し、歳入の決算額は 2,707 万 9,654 円（前年度比 1,976 万 6,165 円、270.3%増）、歳出の決算額は 2,239 万 8,480 円（前年度比 1,680 万 1,866 円、300.2%増）で、形式収支は 468 万 1,174 円（前年度比 296 万 4,299 円、172.7%増）となっています。

なお、翌年度へ繰り越すべき財源はありませんので、実質収支も形式収支と同額の468万1,174円の黒字決算となっています。

決 算 収 支

(単位：円、%)

区 分 \ 年 度	3 年 度 (a)	2 年 度 (b)	比較増減 (c)=(a)-(b)	増減率 (c)/(b)
予 算 現 額	27,060,000	7,290,000	19,770,000	271.2
歳 入 決 算 額	27,079,654	7,313,489	19,766,165	270.3
歳 出 決 算 額	22,398,480	5,596,614	16,801,866	300.2
歳入歳出差引額(形式収支)	4,681,174	1,716,875	2,964,299	172.7
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	—
実 質 収 支	4,681,174	1,716,875	2,964,299	172.7

(2) 歳入

収入率は、予算対比100.1%、調定対比100.0%で、歳入の主なものは、県補助金917万700円、雑入(木材売払い収入等)820万7,988円、一般会計繰入金393万300円、財産貸付収入257万1,511円です。

決算額は、前年度と比較して1,976万6,165円(270.3%)の増となっています。これは、県補助金や一般会計繰入金、雑入(木材売払い収入)が増加したことなどによるものです。

歳 入 状 況

(単位：円、%)

区 分 款 別	予算現額	調 定 額	収入済額	収 入 率		収入済額 構成比
				予算対比	調定対比	
県支出金	9,170,000	9,170,700	9,170,700	100.0	100.0	33.9
財産収入	3,040,000	3,053,775	3,053,775	100.5	100.0	11.3
繰入金	4,930,000	4,930,300	4,930,300	100.0	100.0	18.2
繰越金	1,710,000	1,716,875	1,716,875	100.4	100.0	6.3
諸収入	8,210,000	8,208,004	8,208,004	100.0	100.0	30.3
歳入合計	27,060,000	27,079,654	27,079,654	100.1	100.0	100.0
2 年 度	7,290,000	7,313,489	7,313,489	100.3	100.0	—
比較増減	19,770,000	19,766,165	19,766,165	—	—	—
増 減 率	271.2	270.3	270.3	—	—	—

(3) 歳出

執行率は、82.8%で、歳出の主なものは、農林水産業費の委託料 1,833万 8,832 円です。

決算額は、前年度と比較して 1,680 万 1,866 円 (300.2%) の増となっています。これは、農林水産業費の委託料が増加したことなどによるものです。

歳 出 状 況

(単位：円、%)

区分 款 別	予算現額	支出済額	不用額	執行率	支出済額 構成比
議会費	280,000	279,000	1,000	99.6	1.2
総務費	1,360,000	1,167,463	192,537	85.8	5.2
農林水産業費	22,280,000	20,952,017	1,327,983	94.0	93.5
予備費	3,140,000	0	3,140,000	—	—
歳出合計	27,060,000	22,398,480	4,661,520	82.8	100.0
2 年 度	7,290,000	5,596,614	1,693,386	76.8	—
比較増減	19,770,000	16,801,866	2,968,134	—	—
増減率	271.2	300.2	175.3	—	—

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地の年度末現在高は、2,858,645.25 m²で、うち山林は 2,833,323.79 m²で年度中の増減はありません。立木の推定蓄積量は、1,882 m³増加し、57,249 m³となっています。

出資による権利は、松本広域森林組合への出資金 248 万円で、年度中の増減はありません。

(2) 債権

きのこ採取権売払いによる債権 2 件のうち 1 件は、令和元年度から 3 年間の契約による 36 万 3,000 円で、令和 2 年度末までに 24 万 2,000 円が収入となり、残りの 12 万 1,000 円は令和 3 年度中に収入となったため、年度末現在高は、0 円となっています。もう 1 件は、令和 2 年度から 3 年間の契約による 24 万 3,000 円で、そのうち 16 万 2,000 円が令和 3 年度まで

の収入となり、年度末現在額は8万1,000円となっています。

(3) 基金

財政調整積立基金の年度末現在高は、1億3,686万6,291円で、前年度より4万5,502円増加しています。

3 監査委員の意見

本財産区は、土地貸付収入等の財産収入が毎年度一定額あり、財政運営は比較的安定しています。令和3年度は、補助金を活用した松枯れ対策事業に着手し、伐採したアカマツの売払収入が大幅に増加するなど、これまで以上に歳入歳出ともに事業費が増加しました。今後も計画的に森林整備を実施していくとともに、近年増加し激甚化する豪雨災害などに備え、巡視や倒木処理など森林の保全に努めてください。

また、森林は治山治水という観点のほか、脱炭素社会の実現に向けて、近年その重要性が見直されています。地域の大切な財産である森林を次世代に引き継ぐため、「森林（もり）の里親促進事業」や「森林体験事業」についてはウィズコロナに対応した事業内容を検討し、引き続き、地域や企業、林業関係者等と連携して取り組まれるよう期待します。あわせて、事業の検討に当たっては、財政調整積立基金の今後の取扱いについても検討してください。